

株 主 通 信

第121期 決算

2012年4月1日から 2013年3月31日まで

証券コード：6448

At your side.



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第121期（2012年4月1日から2013年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2012年度は、米国では底堅い成長となったものの、欧州にて継続する債務問題の影響や、新興国における景気減速に加え、2012年夏から秋にかけての大幅な円高など、ブラザーグループを取り巻く経営環境は厳しいものとなりました。

このような状況の中、ブラザーグループの売上高は、マシナリー・アンド・ソリューション事業で市況悪化の影響を受けたものの、通信・プリンティング機器や通信カラオケ機器などが堅調に推移したことに加え、米ドルに対する為替のプラス影響などにより、前年度を上回りました。一方、利益面は、マシナリー・アンド・ソリューション事業の減益や為替のマイナス影響などにより、対前年度で減益となりました。

2013年度につきましては、中期戦略CS B2015の達成に向けた「成長を目指す年」として、グループ一丸となって邁進してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

小池利和



At your side.

いつもお客様第一に考え、
優れた価値を創造し、迅速にお届けしたい。
“At your side.”という言葉には、
そんなブラザーグループの思いが込められています。
この“At your side.”の精神のもと、ブラザーグループは、
地球環境に配慮した取り組みを行うとともに、
世界中のお客様が実現したい
新しいライフスタイルやワークスタイルを、
製品やサービスを通じて応援していきます。



よりよい地球環境を、あなたとともに。

CONTENTS 〈目次〉

01 株主の皆さまへ

02 目次

03 特集

中期戦略「CS B2015」の3年目に入りました

07 連結決算の概況

2012年度の業績概況／2013年度の業績見通し／配当金について

09 主要事業セグメントの 営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業
パーソナル・アンド・ホーム事業
マシナリー・アンド・ソリューション事業
ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

13 トピックス

東日本大震災 継続的な復興支援活動
国際的なデザイン賞「iF design award 2013」金賞を受賞
ブラザーの環境社会貢献(タイ)

16 連結経営指標

17 連結財務諸表 1

貸借対照表(要旨)

19 連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)／キャッシュ・フロー計算書(要旨)／
株式資本等変動計算書(要旨)

21 株式の状況

22 会社の概要

この株主通信に記載の業績見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、さまざまなリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果がありうることをご承知おきください。

この株主通信に記載の表示金額は、億円未満を四捨五入、百万円未満を切り捨てて表示しています。また、各種比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

特集

▶ 中期戦略「CS B2015」の3年目に入りました

ブラザーグループは中長期ビジョン「グローバルビジョン21」を策定し、目指すべき3つの項目を掲げています。

グローバル
ビジョン21

- ① 「グローバルマインドで優れた価値を提供する高収益体質の企業」になる
- ② 独自の技術開発に注力し「傑出した固有技術によってたつモノ創り企業」を実現する
- ③ 「“At your side.”な企業文化」を定着させる

グローバルビジョン21実現に向けたロードマップとして中期戦略を策定しており、2011年4月からスタートした中期戦略「CS B2015」では“Back to Growth ～成長への再挑戦～”をテーマに、成長戦略に挑戦しています。中期戦略の策定後、さまざまな事業環境の変化はあるものの、成長戦略を描き、事業の拡大を目指すという基本方針に変更はありません。事業環境の変化に対応しつつ、設備投資や研究開発投資、M&A、販売体制の強化などを積極的に進め、新規事業を含む全ての事業において拡大を目指します。

2015年度目標

売上高 7,500億円

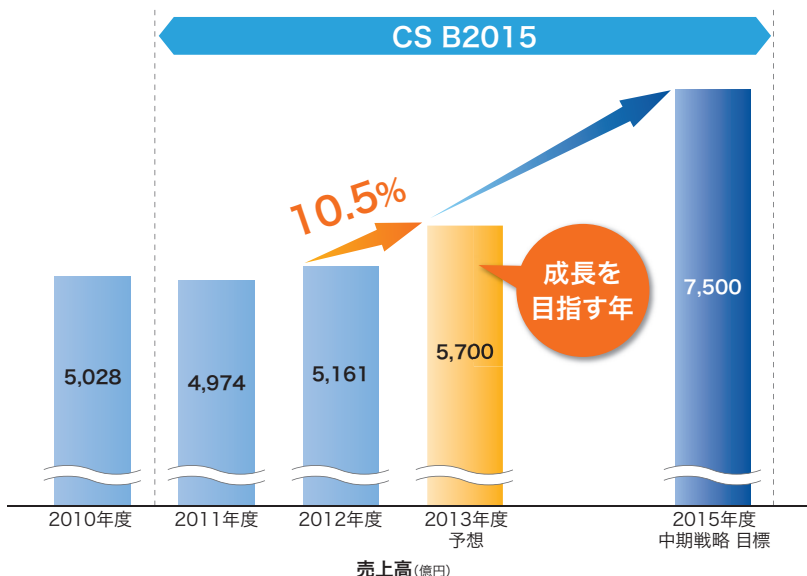
営業利益 580億円

営業利益率 7.7%

※2015年度目標値の為替前提：
1米ドル=100円、1ユーロ=100円、1人民元=20円

全事業、全地域での成長

- 新規事業・新規商品の育成・拡大
- 新興国での拡大
- グローバル戦略の推進
- M&A、アライアンスの推進



成長に向けた各事業の取り組み

■ プリンティング・アンド・ソリューションズ(P&S)事業

複合機 プリンター
電子文具 スキャナー

2012年度には、モノクロレーザーの上位機種や高速インクジェットプリンターを発売し、ビジネス向け製品のラインアップを強化しました。今後は、ビジネス向け市場での販売強化や、新興国の顧客ニーズに特化したモノクロレーザー戦略製品の投入により、売上の拡大を目指します。

またドキュメントスキャナーやWeb会議システムなどの新たな領域については、製品力の強化や、サービス提供基盤の拡大を通じて、事業の成長を図ります。

■ パーソナル・アンド・ホーム(P&H)事業

家庭用ミシン

家庭用ミシンでは、業界初の機能を搭載した上級ユーザー向けの家庭用刺しゅうミシンなど、中高級機種の投入によるさらなる販売拡大と、新興国市場の開拓を推し進めてきました。今後は、新たな価値を提案する製品の投入を通じて顧客基盤を拡大するとともに、ベトナム工場でのコスト競争力を高めるなど、生産体制のさらなる強化を実現します。

■ マシナリー・アンド・ソリューション(M&S)事業

工業用ミシン 産業機器

マシナリー・アンド・ソリューション事業では、2012年度に、世界初となる接着剤タイプのボンディングマシンを発売するなど、縫製産業のお客様のご要望に応える製品を開発しました。今後も、競争力のある新製品を開発・投入し、アジア市場での販売力を強化するとともに、コストダウンを通じた体力強化を図ります。

■ ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業

通信カラオケ コンテンツサービス

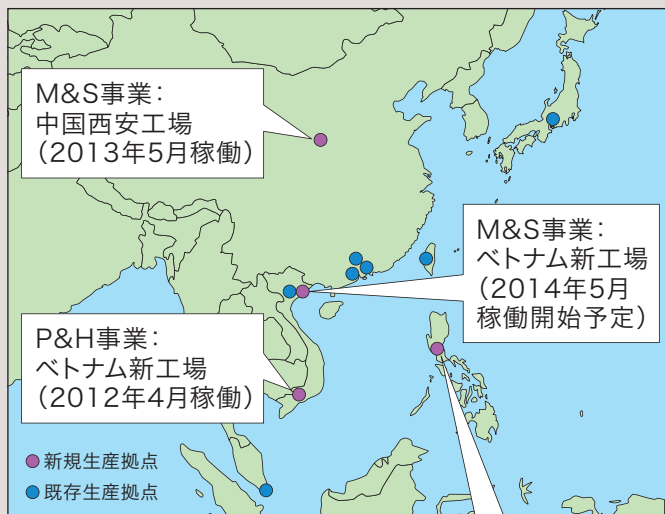
2012年度は、通信カラオケの新機種を導入し、収益を拡大することができました。引き続き、通信カラオケ事業の製品・サービスをさらに充実させるとともに、業務プロセスの改善に取り組み、安定的な収益確保を図ります。あわせて、健康事業などの新しい事業の育成を目指します。

■ 経営基盤の強化

中期戦略に基づいて、事業ごとに最適な生産体制の構築をグローバルに推し進めています。プリンティング・アンド・ソリューションズ事業のフィリピン新工場や、マシナリー・アンド・ソリューション事業の中国西安にある複数の拠点を集約した工場が2013年春に稼働したほか、マシナリー・アンド・ソリューション事業のベトナム新工場も、2014年度の稼働開始に向けて準備を進めています。今後も、成長を支える生産体制の強化を進めるとともに、最適なコストによる生産や、災害を含むさまざまなリスクに備えるための設備投資も行なっていきます。

さらに研究開発においても、競争力のある商品創出のため、成長に向けた積極的な投資を継続しており、2013年度は設備投資額・研究開発費ともに過去最高額を計画しています。

グローバルで最適な生産体制の構築

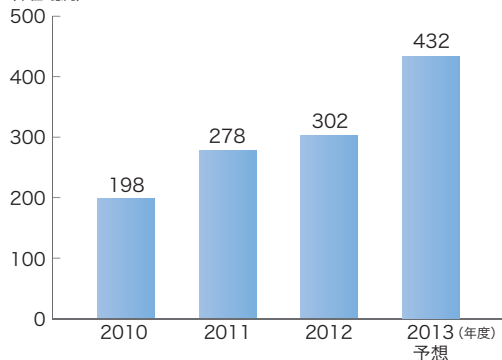


P&S事業：
フィリピン新工場
(2013年4月稼働)



◎ 設備投資額

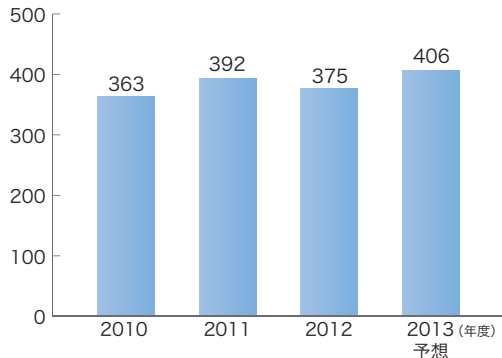
(単位: 億円)



※2013年度は株式会社ニッセイにおける新工場の建物・生産設備への投資額を含みます。

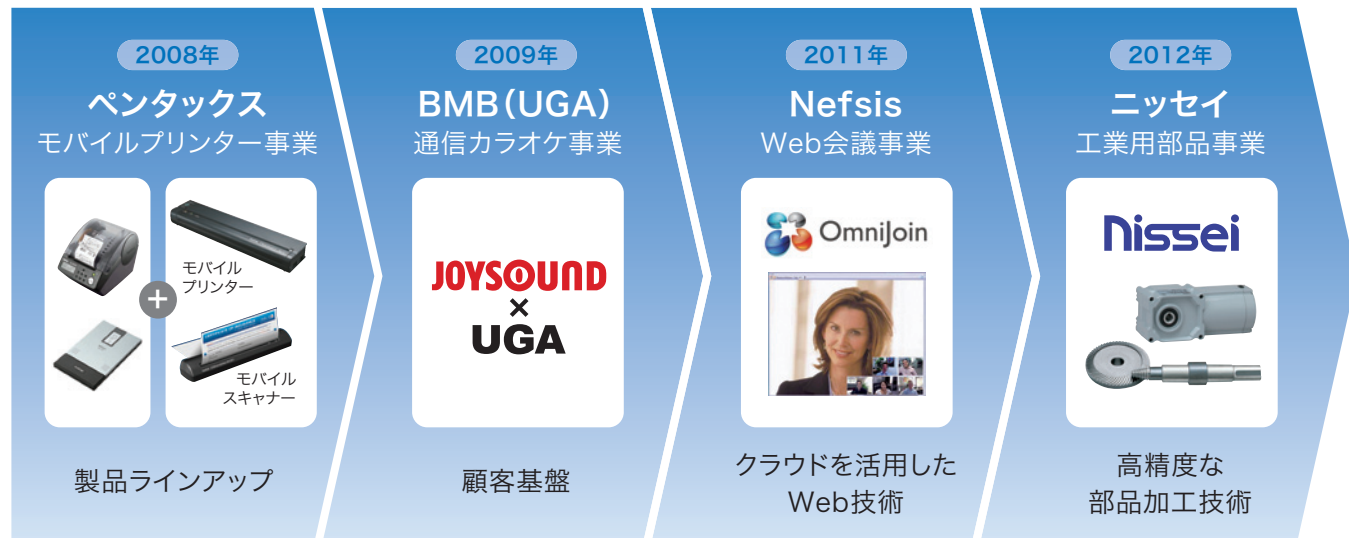
◎ 研究開発費

(単位: 億円)



■M&A・アライアンスの推進

新規事業の拡大のため、Web会議事業を展開するアメリカのベンチャー企業や、国内でトップクラスのシェアを誇る小型減速機・歯車メーカーなどを対象に、新たな事業領域の拡大に向けたM&Aを実行してきました。今後も、成長を実現するためのM&Aやアライアンスを継続的に実施していきます。



今後もM&A・アライアンスは継続的に実施

工業用部品事業 早期のシナジー効果実現を目指します

2012年にブラザーの連結子会社となった株式会社ニッセイは、優れた技術と短納期を強みに、減速機・歯車の国内市場において高いシェアを維持しています。今後は、ブラザーが持つグローバルな製造・販売ネットワークを通じて、海外においても事業拡大を図ることとさらなる成長を目指すとともに、ブラザーが持つメカ・ハード・ソフトの技術に、ニッセイの高精度な部品加工技術を組み合わせ、新規事業創出のスピードアップを図ります。



▲ 株式会社ニッセイ

連結決算の概況

2012年度の業績概況

2012年度のブラザーグループの売上高は、マシナリー・アンド・ソリューション事業の市況が悪化したものの、通信・プリンティング機器や家庭用ミシン、通信カラオケ機器の需要が堅調に推移したことに加え、主に米ドルに対する為替のプラス影響もあり、前年度比3.8%増の5,160億6千6百万円となりました。営業利益は、ネットワーク・アンド・コンテンツ事業において、通信カラオケ事業の損益が大きく改善したものの、マシナリー・アンド・ソリューション事業の減収や、主にユーロに対する為替のマイナス影響もあり、

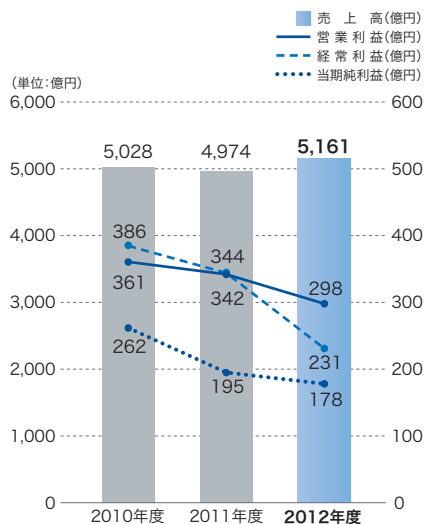
前年度比12.9%減の297億7千5百万円となりました。経常利益は、為替のマイナス影響などにより、前年度比32.6%減の231億4千4百万円となり、当期純利益は、株式会社ニッセイの株式取得に係る負ののれん発生益を計上しましたが、前年度比8.7%減の178億2千6百万円となりました。

(単位:億円)

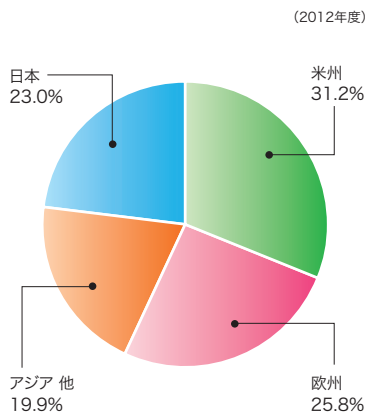
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012年度連結業績	5,161	298	231	178

※2012年度連結業績における平均為替レートは次の通りです。
1米ドル=83円、1ユーロ=108円

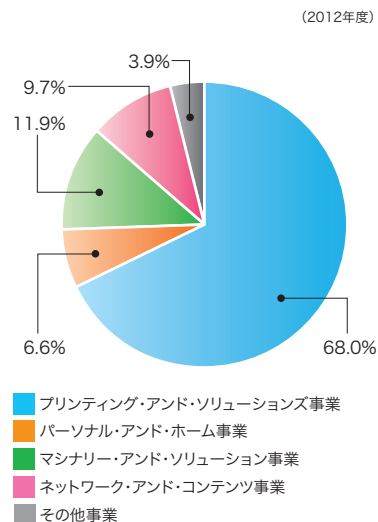
業績の推移



市場別売上高の構成比



事業セグメント別売上高の構成比



2013年度の業績見通し

2013年度につきましては、米州や日本においては回復への期待が高まっているものの、債務問題の影響が残る欧州では景気低迷の長期化が懸念されるなど、依然として不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、売上高は、円安による為替のプラス影響に加え、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業を中心に当社製品に対する需要が引き続き堅調であることを見込むほか、新製品の投入効果、株式会社ニッセイの新規連結効果などにより、対前年度で増収となる見通しです。営業利益は、成長のための販売投資や開発投資、減価償却費の増加などのマイナス影響はあるものの、為替のプラス効果もあり、増益となる見通しです。経常利益は、営業利益の増加に加え、デリバティブ評価損益の改善効果により増益を見込んでおり、当期純利益も増益となる見通しです。

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2013年度 連結業績見通し	5,700	320	320	185

※2013年度通期業績見通しは次の為替レートを前提としております。

1米ドル=90円、1ユーロ=115円

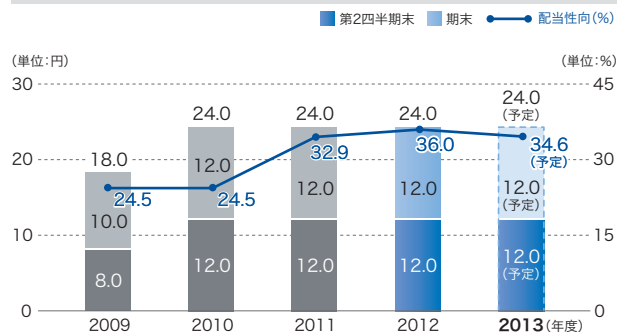
配当金について

株主の皆さまへの配当金につきましては、成長のための投資に必要な内部留保の確保やキャッシュ・フローの状況などを勘案しつつ、経営成績に応じた積極的な利益還元を実施することを基本方針としています。連結配当性向30%程度を目標に利益を還元する一方、業績に関わらず継続的な配当を実施するにあたり、株主資本配当率(DOE)1%程度を配当の下限水準と定めています。

2012年度の配当金につきましては、予定どおり期末配当を1株当たり12円とし、実施済みの第2四半期末配当とあわせ、年間で24円とさせていただきます。

2013年度につきましては、継続的に安定した配当を実施すべく、前期と同額の年間24円を予定しています。

1株当たり配当金



主要事業セグメントの営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

事業紹介

プリンティング技術を追求め、ワークスタイルの革新を提案します。コンパクト性を追求したプリンターのほか、一台にプリンター・ファクス・コピー・スキャナーなどの機能を搭載した複合機、直感的な使いやすさにこだわったラベルライターなど、SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)をはじめとするオフィスでの幅広いニーズにお応えします。

主要製品等

複合機、プリンター、ファクス、電子文具、スキャナー、タイプライター

売上高

3,508億3千6百万円

●通信・プリンティング機器

景気減速の影響を受けた欧州やアジア地域での需要は低迷したものの、米州において、製品本体・消耗品とも売上が堅調に推移した結果、前年度比4.5%増の3,135億円となりました。

●電子文具

米ドルの為替プラス影響はあるものの、景気減速の影響や、一部製品のセグメント変更の影響などにより、前年度比0.6%増の373億3千5百万円となりました。

営業利益

188億2千6百万円

主にユーロに対する為替のマイナス影響により、前年度比14.3%減の188億2千6百万円となりました。

製品紹介

インクジェットプリンター 「DCP-J4210N」

A4用紙の横向き出力に対応し、クラス最小奥行* 290mmのコンパクトボディを実現。さらに、A3印刷を可能にしました。



* 2012年7月8日時点。ブラザー調べ。
国内インクジェット複合機におけるサイズ比較(モバイルを除く)。

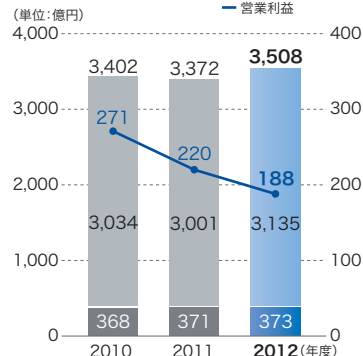
業務向け感熱ラベルプリンター 「TD-2130NSA」

操作パネルと液晶ディスプレイを搭載。本体に時計機能を内蔵したことで、賞味期限などを記載した食品表示ラベルを簡単に印刷できます。

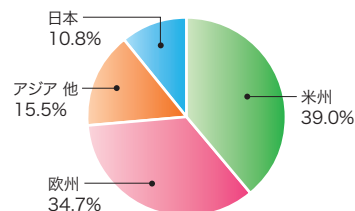


◎売上高/営業利益

- 売上高:通信・プリンティング機器
- 売上高:電子文具
- 営業利益



◎市場別売上高の構成比(2012年度)



パーソナル・アンド・ホーム事業

事業紹介

家庭用ミシンを中心としたソーイング関連の製品とサービスで、手づくりの楽しさを提案します。従来型のミシンに加え、パソコンを介してインターネットに接続する“ソーイングステーション”など、製品とサービスを通して、手づくりの新しい可能性を広げます。

主要製品等

家庭用ミシン

売上高

338億4百万円

欧米で売上が堅調に推移したことにより、前年度比10.1%増の338億4百万円となりました。

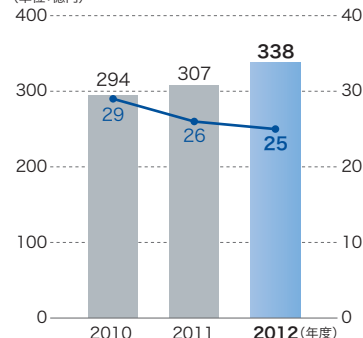
営業利益

24億8千8百万円

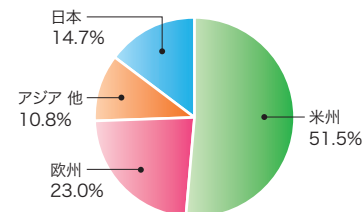
増収となったものの、新工場の稼働に伴う費用増加の影響などにより、前年度比4.5%減の24億8千8百万円となりました。

◎売上高／営業利益

(単位:億円)



◎市場別売上高の構成比(2012年度)



製品紹介

家庭用刺しゅうマシン 「イノヴィス VF1」

まっすぐな布送りをサポートする「レーザーガイドラインマーカー」をはじめ、家庭用ミシン業界初*の機能をいくつも搭載する、国内最上位モデルです。



* 2013年1月17日時点。ブラザー調べ。

職業用刺しゅうマシン 「PR1000e」

10針の採用やカメラの搭載など、職業用刺しゅう機業界初*の機能により、大幅な生産性向上を実現しました。



* 2012年8月20日時点。ブラザー調べ。

マシナリー・アンド・ソリューション事業

事業紹介

使いやすさ、高品質な縫製、省エネルギーを実現した工業用マシンや、自動車やハードディスクドライブ、携帯電話などの部品加工業界に最適な工作機械の提案と密着したサポートを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出をお手伝いしています。

主要製品等

工業用マシン、産業機器

売上高

614億1千5百万円

●工業用マシン

景気減速の影響を受け、中国・アジア地域における縫製産業の設備投資需要が低迷したことにより、前年度比13.1%減の189億9百万円となりました。

●産業機器

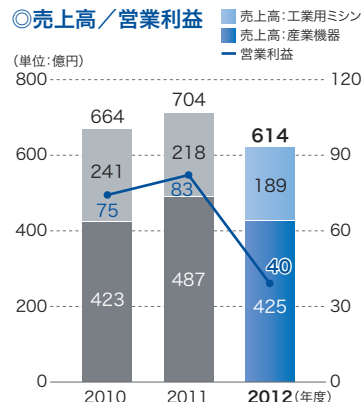
上期までは、IT関連産業向けの需要が堅調に推移したものの、下期に入り需要が急減した影響により、年間では前年度比12.7%減の425億6百万円となりました。

営業利益

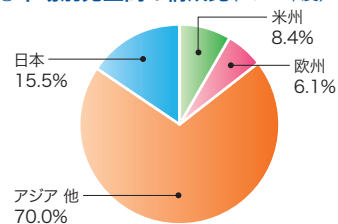
40億6百万円

売上の減少に伴い、前年度比52.0%減の40億6百万円となりました。

◎売上高／営業利益



◎市場別売上高の構成比(2012年度)



製品紹介

CNCタッピングセンター 「TC-S2DN」

「CNCタッピングセンター」シリーズの主力製品。従来機比2倍以上の主軸モータートルクを実現したことで、高い生産性を発揮します。



本縫ダイレクトドライブ電子ボタン穴かがりマシン 「HE-800B」

ダイレクトドライブ方式の採用によりさらなる省エネ性を実現するとともに、新型釜の搭載により縫製品質を向上しました。



ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

事業紹介

業務用通信カラオケシステムの提供を行うとともに、通信カラオケで培ったコンテンツ・配信技術を活用したサービスや製品を提供することで、新たな顧客価値を追求しています。

主要製品等

業務用通信カラオケシステム、コンテンツサービス

売上高

500億8千3百万円

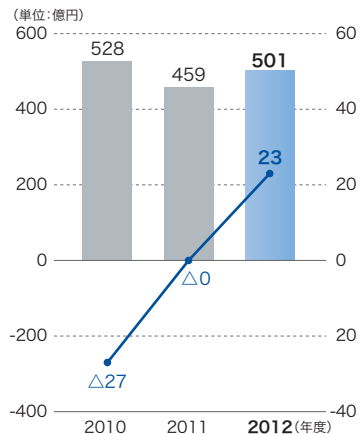
通信カラオケ機器の新機種が好調に推移したことにより、前年度比9.1%増の500億8千3百万円となりました。

営業利益

23億1千4百万円

通信カラオケ機器の売上が増加したことに伴い、大幅に利益が改善しました。
(前年度営業損失 △1千9百万円)

◎売上高／営業利益



※ネットワーク・アンド・コンテンツ事業の売上は、日本が売上の大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

製品紹介

業務用通信カラオケシステム
「JOYSOUND f1」



「JOYSOUND」と「UGA」の両ブランドの技術とノウハウを結集させたフラグシップモデル。業界最多となる21万曲の楽曲を搭載するとともに、これまでにない自然で豊かな音質を実現しました。

店舗紹介

カラオケ直営店
「JOYSOUND品川港南口店」

品川駅から徒歩約3分の場所に、JOYSOUND直営店の旗艦店として、地上1階から6階に全73室を備える新店舗をオープンしました。

※グループ会社の株式会社スタンダードが運営しております。



トピックス 東日本大震災 継続的な復興支援活動

東日本大震災により被災された地域の復旧・復興を願い、ブラザーグループは、「現地のニーズに合った、支援の効果が見える活動」「被災者の“生きがい創り、しごと創り”につながる活動」「従業員の積極的な参加」を3つの柱に位置付け、継続的な支援活動を着実に進めています。

「きずな公園」の建設

ブラザー工業社長・小池利和発案の「テリーの絆プロジェクト」を通じてブラザーグループ従業員から集められた寄付(約530万円)を資金に、宮城県七ヶ浜町で「きずな公園」建設が進められています。2013年4月に七ヶ浜町住民の方々との公園づくり意見交換会が行われ、5月に着工しました。



▲ 小池自ら現地での意見交換会に参加

被災地の劇団による公演を支援

宮城県七ヶ浜町の市民劇団による名古屋でのミュージカル公演を支援しました。ブラザー工業は、寄付金支援に加え、実行委員会メンバーとしても参加し、プログラム構成から運営サポートまで幅広く協力しました。2012年8月の公演当日は、ブラザー関係者151名を含む約1,000名のお客様で盛り上がりました。



▲ 劇団員による見事なパフォーマンス

被災された漁師の方々に支援

従業員ボランティアチームが、ワカメ養殖に不可欠な漁具「サンドバッグ」を自宅などのミシンで製作し、2012年8月、宮城県七ヶ浜町の漁師の方々に200枚を発送。さらに漁師の方々から追加製作を要望する声をいただき、150枚を製作して9月に送りました。



▲ サンドバッグを手にした漁師の方々

※サンドバッグは、中に砂を入れてワカメの養殖棚の重りとして使われています。

東北物産展を社内で開催

2013年3月、昼の休憩時間を利用し、ブラザー工業・社員食堂で東北の特産品を集めた物産展を開催。ブラザー工業の役員を含む従業員ボランティアが販売などを手伝う中、会場は販売開始後すぐに多くの従業員で埋め尽くされ、開始30分後には完売し、約32万円の売り上げを達成して終了しました。



▲ 物産品を購入する従業員

トピックス 国際的なデザイン賞「iF design award 2013」金賞を受賞

ブラザー工業のインクジェット複合機が、「iF design award(以下、iF賞)」において「iF gold award 2013(金賞)」を受賞しました。「iF gold award 2013」の受賞は、前年に受賞した家庭用オーバーロックミシンに続き、ブラザーにとって2年連続の受賞となります。iF賞は、全世界の工業製品を対象に行なわれる国際的なデザイン賞で、アメリカのIDEA賞などと並んで世界的に最も権威のあるデザイン賞の一つです。今年のiF賞には、世界51カ国から4,352点の応募があり、「iF product design award部門」で複合機やラベルプリンターなど8点のブラザー製品が受賞しました。さらにその中から、インクジェット複合機が、全ての

部門を対象に厳選された75点のみに与えられる「iF gold award 2013」に選ばれました。2月22日には、ドイツ・ミュンヘンで授与式が催され、受賞したインクジェット複合機が大スクリーンで紹介される中、世界中のトップデザイナーらとともに、受賞製品のデザインを担当した従業員が、トロフィーを受け取りました。



▲トロフィーを掲げる
ブラザー工業・総合デザイン部の従業員

「iF design award 2013」金賞 受賞製品



インクジェット複合機「MFC-J4510DW / MFC-J4510N / MFC-J2510」

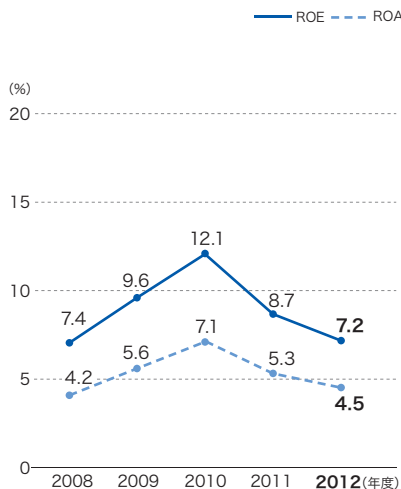


▲ MFC-J4510DW

本体の奥行きが290mmとコンパクトサイズながら、A3出力に対応したインクジェットプリンターです。ブラザー独自の35mm大型ヘッドにより、美しさはそのままに、A4カラー印刷18枚/分、A4モノクロ印刷20枚/分を実現し、従来機比約2倍の高速印刷を可能にしました。

連結経営指標

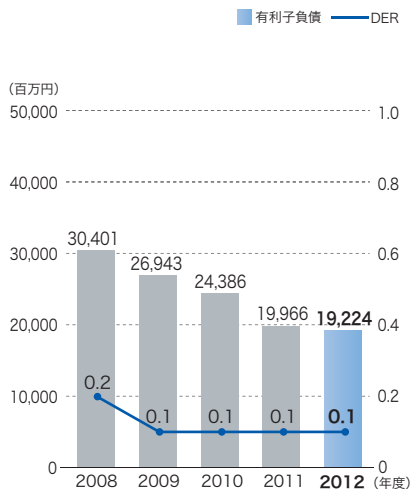
ROE・ROA



※ROE=当期純利益/自己資本（期首・期末平均）

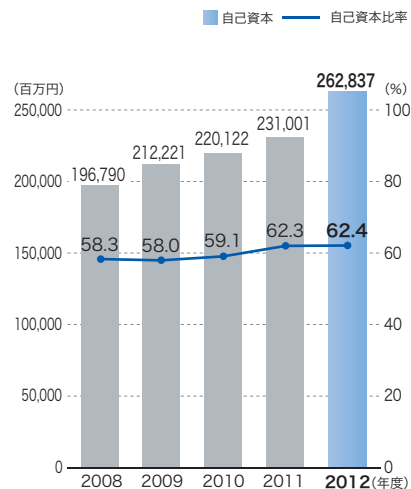
※ROA=当期純利益/総資産（期首・期末平均）

有利子負債・DER



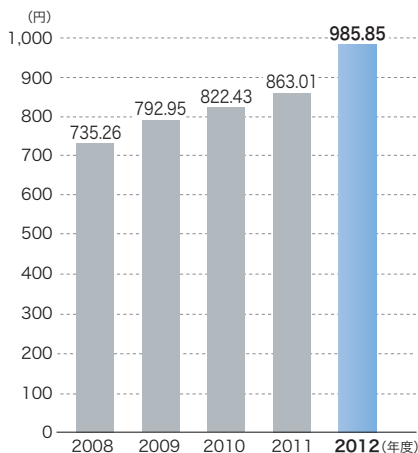
※DER=有利子負債/自己資本

自己資本・自己資本比率

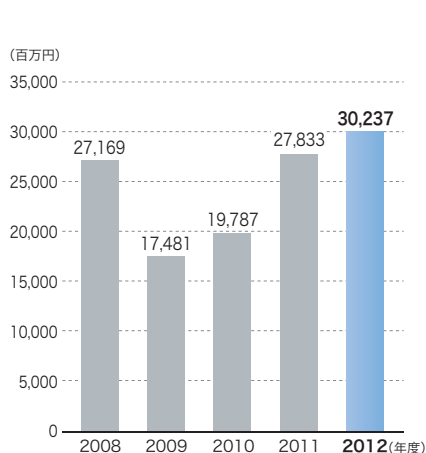


※自己資本比率=自己資本/総資産

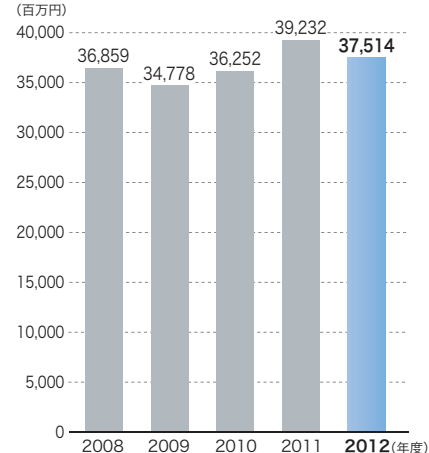
1株当たり自己資本



設備投資額



研究開発費



(単位:百万円)

科目	2012年度 (2013年3月31日現在)	2011年度 (2012年3月31日現在)	増減
《負債の部》			
流動負債	107,054	117,478	△ 10,424
支払手形及び買掛金	32,107	35,978	△ 3,871
短期有利子負債	6,524	19,466	△ 12,941
未払法人税等	2,998	2,592	406
その他	65,423	59,441	5,981
固定負債	35,670	22,001	13,668
長期有利子負債	12,700	500	12,200
その他	22,970	21,501	1,468
負債合計	142,724	139,480	3,243
《純資産の部》			
株主資本	278,341	267,413	10,927
資本金	19,209	19,209	—
資本剰余金	16,463	16,151	312
利益剰余金	255,639	243,725	11,913
自己株式	△ 12,971	△ 11,672	△ 1,298
その他の包括利益累計額	△ 15,503	△ 36,412	20,908
その他有価証券評価差額金	2,344	2,176	168
繰延ヘッジ損益	△ 443	△ 184	△ 258
為替換算調整勘定	△ 17,405	△ 38,404	20,999
新株予約権	458	420	38
少数株主持分	15,473	3	15,469
純資産合計	278,769	231,425	47,344
負債及び純資産合計	421,494	370,906	50,588

● **有利子負債**

長期借入金が増加したものの、1年内償還予定の社債の減少により、有利子負債は短期・長期合計で前期末に比べ7億円の減少となりました。

● **自己資本比率**

利益剰余金や為替換算調整勘定の増加により、自己資本比率は前期末の62.3%より0.1ポイント増加し62.4%となりました。

連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2012年度 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	2011年度 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)	増減
売上高	516,066	497,390	18,676
売上原価	300,006	280,689	19,317
売上総利益	216,060	216,700	△ 640
販売費及び一般管理費	186,284	182,517	3,766
営業利益	29,775	34,183	△ 4,407
営業外収益	2,522	3,299	△ 776
営業外費用	9,153	3,130	6,022
経常利益	23,144	34,351	△ 11,207
特別利益	9,797	1,566	8,230
特別損失	4,995	1,810	3,185
税金等調整前当期純利益	27,946	34,107	△ 6,161
法人税等	10,088	14,582	△ 4,493
少数株主損益	30	0	30
当期純利益	17,826	19,525	△ 1,698

売上高

マシナリー・アンド・ソリューション事業における市況の悪化はあったものの、通信・プリンティング機器や家庭用ミシン、通信カラオケ機器の需要が堅調に推移したことに加え、主に米ドルに対し円安になったことによる為替のプラス影響もあり、増収となりました。

営業利益

ネットワーク・アンド・コンテンツ事業において、通信カラオケ事業の損益が大きく改善した効果はあるものの、マシナリー・アンド・ソリューション事業が減収となったことや、主にユーロに対する為替のマイナス影響もあり、減益となりました。

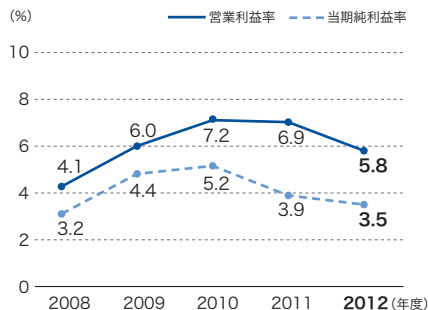
経常利益

急激な為替の変動の影響を受け、デリバティブ評価損が増加したことなどにより、減益となりました。

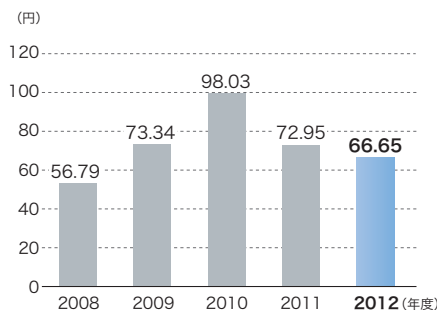
当期純利益

株式会社ニッセイの株式取得に係る負ののれん発生益を特別利益に計上したものの、経常利益の大幅な減少により、減益となりました。

■ 営業利益率・当期純利益率



■ 1株当たり当期純利益



キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2012年度 (2012年4月 1日から 2013年3月31日まで)	2011年度 (2011年4月 1日から 2012年3月31日まで)	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,734	39,327	△ 6,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 41,771	△ 30,758	△ 11,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,413	△ 14,117	7,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,569	△ 1,614	12,183
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,882	△ 7,163	2,280
現金及び現金同等物期首残高	58,731	65,100	△ 6,368
新規連結による現金増加	1,209	794	415
現金及び現金同等物期末残高	55,059	58,731	△ 3,672

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益は279億円となり、減価償却費などの非資金損益の調整のほか、仕入債務の減少などによる資金増減や法人税等の支払いなどを差し引いた結果、327億円の収入となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出249億円、無形固定資産の取得による支出57億円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出70億円、関係会社株式の取得による支出66億円などにより、417億円の支出となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入122億円、社債の償還による支出150億円、配当金の支払額65億円などにより、64億円の支出となりました。

株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

(2012年4月 1日から 2013年3月31日まで)	株 主 資 本					評価・換算 差額等	新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
当期首残高	19,209	16,151	243,725	△ 11,672	267,413	△ 36,412	420	3	231,425
当連結会計期間中の変動額	—	312	11,914	△ 1,298	10,927	20,908	38	15,469	47,344
剰余金の配当	—	—	△ 6,450	—	△ 6,450	—	—	—	△ 6,450
当期純利益	—	—	17,826	—	17,826	—	—	—	17,826
自己株式の取得/処分	—	312	—	△ 1,298	△ 986	—	—	—	△ 986
その他	—	—	538	—	538	20,908	38	15,469	36,955
当期末残高	19,209	16,463	255,639	△ 12,971	278,341	△ 15,503	458	15,473	278,769

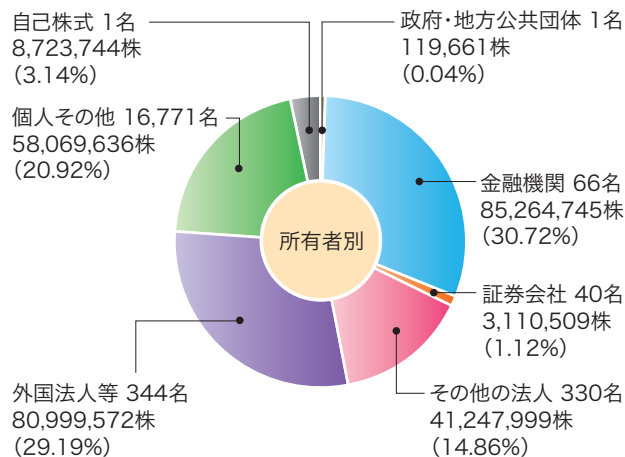
株式の状況

株価の推移(月間最高値・最安値)



株式の分布状況 (2013年3月31日現在)

- 発行可能株式総数……………600,000,000株
- 発行済株式総数……………277,535,866株
- 株主総数……………17,553名



大株主 (上位10名)

(2013年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー※	23,126	8.33
日本生命保険相互会社	13,880	5.00
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)※	13,150	4.74
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)※	9,722	3.50
株式会社三井住友銀行	8,398	3.03
住友生命保険相互会社	4,499	1.62
朝日実業株式会社	4,408	1.59
プラザーグループ従業員持株会	4,404	1.59
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,796	1.37
株式会社ニッセイ*	3,061	1.10

注1：持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

注2：持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

注3：※印のある株主の所有株式は、全て当該各社の信託業務にかかる株式です。

注4：*印の株式会社ニッセイの所有株式は、同社が連結子会社であるため、全て議決権を有しません。

注5：上記のほか、自己株式が8,723千株(持株比率3.14%)あります。

会社の概要

基本データ (2013年3月31日現在)

商号	ブラザー工業株式会社 (BROTHER INDUSTRIES, LTD.)
本社	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561 TEL : 052-824-2511 (代表)
設立	1934年1月15日
資本金	192億9百万円
上場証券取引所	東証1部、名証1部
従業員	連結 : 31,694名 単独 : 3,819名
グループ会社	連結子会社60社、持分法適用会社5社 (日本19社、米州9社、欧州19社、アジアその他18社)

役員 (2013年4月1日現在)

[取締役]

小池 利和	※代表取締役社長	内部監査部、経営企画部、新規事業推進部 直轄
石川 茂樹	※代表取締役 専務執行役員	QM推進部、CS推進部、開発管理部、知的財産部、 技術開発部 担当 兼 技術開発部長
平野 幸久	*取締役	
西條 温	*取締役	
服部 重彦	*取締役	
深谷 紘一	*取締役	

[監査役]

成田 正人	監査役 (常勤)	
松尾 邦弘	*監査役	
海野 隆雄	*監査役	
丸山 弘昭	*監査役	

[常務執行役員]

長谷川友之	工業用部品事業統括 兼 IT戦略推進部 担当
神谷 純	N&C事業統括 兼 N&C事業推進部、ネットワークシステム開発部 担当 兼 N&C事業推進部長、 株式会社エクシング代表取締役会長
浅井 侯序	コーポレートコミュニケーション部、法務・総務部、グローバルCSR 推進部 担当
松本勇美夫	P&S事業 (レーザー/電子文具) 統括 兼 開発企画部、電子システム開発部、 メカシステム第1開発部、メカシステム第2開発部、LE開発部、ES開発部 担当
亀之内孝文	営業企画部、商品企画部、サービス&ソリューションズ事業推進部 担当
佐々木一郎	サービス&ソリューションズ事業統括 兼 ソフトウェア第1開発部、 ソフトウェア第2開発部、アプリケーション開発部 担当

[執行役員]

藤井 宗高	財務部 担当 兼 財務部長
川那辺 祐	マシンリー・アンド・ソリューション カンパニー プレジデント
鈴木 雅彦	P&S事業 (インク) 統括 兼 IE開発部、IE技術部、総合デザイン部 担当
三輪 祐司	製造企画部、製造部、購買部、環境推進部 担当
服部 親将	生産技術部、部品技術部、電子技術部、試作技術部 担当
若原 宏之	人事部 担当 兼 人事部長
久野 光康	パーソナル・アンド・ホーム カンパニー プレジデント

[グループ常務執行役員]

片山 俊介	ブラザー販売株式会社 代表取締役社長
石川 博	兄弟高科技 (深圳) 有限公司、兄弟工業 (深圳) 有限公司 董事長
石黒 雅	ブラザーインターナショナルコーポレーション (U.S.A.) 取締役社長

[グループ執行役員]

只 雄一	ブラザーホールディング (ヨーロッパ) 取締役社長、 ブラザーインターナショナル (ヨーロッパ) 取締役会長兼社長
------	--

注1 : ※印の取締役 小池 利和、石川 茂樹は執行役員を兼務しています。

注2 : *印の取締役 平野 幸久、西條 温、服部 重彦、深谷 紘一は社外取締役です。

注3 : *印の監査役 松尾 邦弘、海野 隆雄、丸山 弘昭は社外監査役です。

株主メモ

事業年度…………… 4月1日～翌年 3月31日
定時株主総会…………… 毎年 6月
期末配当金受領株主確定日…………… 3月31日
第2四半期末配当金受領株主確定日…………… 9月30日
基準日…………… 3月31日
公告掲載URL …… <http://www.brother.co.jp/investor/>

※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に公告します。

■ 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂7丁目10番11号 〒137-8081
TEL:0120-232-711 (通話料無料)

※株券電子化に伴い、株主さまの住所変更その他各種お手続きにつきましては、株主さまご自身が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にて承りますので、詳細は各口座管理機関へお問い合わせください。

※特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

アンケートご協力をお願い

本年度も引き続き株主アンケートを実施いたします。期日までに同封のアンケートはがきにご記入の上、返信いただいた方の中から抽選で10名様にインクジェットプリンター「アリオ DCP-J4210N」を進呈いたします。

※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



ブラザー工業株式会社

本社 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561

展示館・ショールームのご案内

ブラザー コミュニケーション スペース



歴史と共に技術の変遷をたどる製品展示、主力製品の紹介展示、各種企画展示を行っております。ブラザーについて知っていただくためのおもてなし空間へ、ぜひお越しください。(見学は要事前予約)



<http://www.brother.co.jp/bcs/>

名古屋市瑞穂区塩入町5番15号 〒467-0851
TEL : 052-824-2227

ブラザー東京ショールーム



ホームからオフィスまで、さまざまなブラザー製品を体験できるスペースです。ブラザー製品をすでにお使いのおお客様のご相談の場として、これからブラザー製品をお買い求めになるお客様のご検討の場として、ブラザー製品を心ゆくまで体験いただけます。

<http://www.brother.co.jp/tokyo-showroom/index.htm>

東京都中央区京橋3丁目3番8号 〒104-0031
TEL : 03-3281-1125